

橘処理センター 稼働開始

建て替え工事が進められてきた橘処理センター。
試運転が2023年10月から始まりました。

長らく工事が行われていましたが
10月以降、周辺地域のごみの受け入れが始まりました。

施設内には、収集車に積まれたごみの重さを計量し記録する計量機や、
燃えるごみを貯めておくごみピットなど、最新設備が整えられ
1日でおよそ600トンのごみを処理することができます。

ごみピット内では、焼却炉への投入に加え、
新たに投入されたごみの水分を飛ばし、均一になるように
クレーンも稼働しています。

また、2023年10月川崎市は民間企業と協働して
地域エネルギー会社「川崎未来エナジー株式会社」を設立。

川崎未来エナジー株式会社の事業として、新たに導入された
蒸気タービン発電機を活用し、これまで市外に流出していた廃棄物発電の電力を
市内の需要家などへ供給します。

従来のおよそ5倍、発電が可能になり、
今後、さまざまな場所への電力供給が開始されます。

バックヤードツアーも実施され
多くの市民がごみピットや発電機室などの施設を見学しました。

2024年3月には完成式典も実施し、4月から本格稼働が始まりました。